

は



「氾濫の 予報があれば すぐ避難」

(解説)

- ・台風や大雨で河川の水位が上昇し、水が溢れ出すことがあります。また、側溝や下水道などから水が溢れ、建物や道路が、浸水することがあります。浸水がひざ上になると、徒歩による避難は危険です。避難が遅れた場合は、建物内で可能な限り高い所に避難する「垂直避難」も考えましょう。

ひ



「避難時は 災害情報 確かめて」

(解説)

- ・大地震の発災時は、まず広域避難場所や一時避難場所などに避難し、身の安全を図りましょう。
- ・台風などの風水害時は、災害の規模や避難所の開設状況などを確認し、避難行動をとりましょう。

ふ

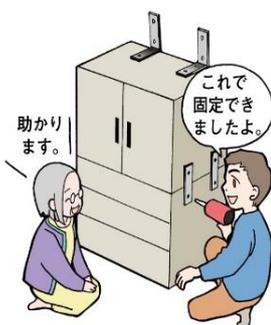


「ブロック塀 グラツときたら 離れよう」

(解説)

- ・地震の揺れを感じたら、ブロック塀から離れましょう。ブロック塀の倒壊により下敷きになるなど、思わぬ被害に遭わないようにする注意が必要です。

へ



「部屋のなか 家具や家電を 固定しよう」

(解説)

- ・阪神・淡路大震災などの大地震では、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。

ほ



「ホイッスル いざという時 役に立つ」

(解説)

- ・倒壊家屋に閉じ込められた時など、大きな音で居場所を知らせるホイッスルがあれば、助けを求めることができます。また、小さなものなので、普段から携帯しておくとならば防犯・防災につながります。